



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年2月7日

上場会社名 株式会社 リード
 コード番号 6982 URL <http://www.lead.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岩崎 元治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 田口 英美

TEL 048-588-1121

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	4,726	6.5	104		131		113	
2019年3月期第3四半期	4,439	17.9	83		45		55	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	43.96	
2019年3月期第3四半期	21.75	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	9,008		2,881			32.0
2019年3月期	8,729		2,733			31.3

(参考)自己資本 2020年3月期第3四半期 2,881百万円 2019年3月期 2,733百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				5.00	5.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,400	9.6	110		140		110	9.6	42.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	2,632,960 株	2019年3月期	2,632,960 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	60,305 株	2019年3月期	60,305 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	2,572,655 株	2019年3月期3Q	2,572,710 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、良好な雇用情勢と賃金上昇により、個人消費は緩やかな回復が持続し、高水準の企業収益を背景に、設備投資も増加基調にあるものの、中国向けを中心とした輸出の低迷を背景に、製造業の生産は伸び悩み、海外経済や消費増税後の内需の行方等、先行き不透明な状況にあります。

当社の売上高に大きな影響を与える乗用車の国内生産台数は、前年同月比10月が11.9%減、同11月が9.1%減、同12月が8.4%減と減産が続いておりますが、主要取引先においては増産傾向にあります。

このような経済環境の中で当第3四半期累計期間の売上高は4,726百万円(前年同期比6.5%増)となりました。自動車用部品部門の受注増が主な要因です。

損益面につきましては、売上高は全体として計画を上回り、自動車用部品部門において収益率の高い受注が増加したことに加え省人化の推進等により製造経費の大幅な削減が図られたこと、更には、自社製品部門において価格改定効果及び人員削減に伴う固定費圧縮によりセグメント損益の黒字化が図られ営業利益は104百万円(前年同期は営業損失83百万円)となりました。

営業外収益は受取配当金38百万円、受取賃貸料33百万円等により76百万円、営業外費用は支払利息39百万円、その他のうち貸店舗収入に係る費用8百万円等により49百万円を計上し、経常利益は131百万円(前年同期は経常損失45百万円)となりました。また、特別損失として固定資産除却損0百万円を計上しました。その結果、四半期純利益は113百万円(前年同期は四半期純損失55百万円)となりました。

セグメント別の業績については、次のとおりであります。

①自動車用部品

当セグメントの売上高は、4,407百万円(前年同期比9.4%増)となりました。損益面につきましては、売上高は計画を上回り、収益率の高い受注が増加したことに加え省人化の推進等により製造経費の大幅な削減が図られセグメント利益(経常利益)は100百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)45百万円)となりました。

②自社製品

当セグメントの売上高は、285百万円(前年同期比20.3%減)となりました。内訳は、電子機器製品が11百万円減少し198百万円、照明機器製品が60百万円減少し86百万円であります。一方損益面につきましては、価格改定効果及び人員削減に伴う固定費圧縮によりセグメント利益(経常利益)は10百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)28百万円)となりました。

③賃貸不動産

賃貸不動産のセグメント利益(経常利益)は22百万円(前年同期比0.3%増)となりました。なお、収益及び費用は営業外に計上しております。

④その他

駐輪設備の売上高は34百万円(前年同期比37.1%減)となりました。公共施設等大型案件の受注減が主な要因です。セグメント損失(経常損失)は1百万円(前年同期はセグメント利益(経常利益)6百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前期末比278百万円増加し9,008百万円となりました。

・資産

流動資産は現金及び預金が360百万円、電子記録債権が360百万円、棚卸資産が10百万円、その他のうち立替金が56百万円増加し、受取手形及び売掛金が386百万円、その他のうち未収入金が22百万円減少したこと等により388百万円増加し3,510百万円となりました。

固定資産は建物が62百万円、機械及び装置が49百万円、工具、器具及び備品が25百万円、リース資産が91百万円減少したこと等により有形固定資産が244百万円減少し4,541百万円となり、また、投資有価証券が96百万円、その他のうち長期前払費用が28百万円増加したこと等から投資その他の資産は136百万円増加し948百万円となりました。その結果、固定資産全体では109百万円減少し5,497百万円となりました。

・負債

流動負債は、支払手形及び買掛金が21百万円、未払金が59百万円、その他のうち未払消費税等が55百万円、預り金が74百万円及び設備関係支払手形が13百万円増加し、短期借入金が101百万円減少したこと等から127百万円増加し3,006百万円となりました。

固定負債は長期借入金が84百万円、その他のうち繰延税金負債が21百万円増加し、その他のうちリース債務が94百万円減少したこと等から2百万円増加し3,120百万円となりました。

・純資産

純資産は、利益剰余金が100百万円、その他有価証券評価差額金が48百万円増加したことから148百万円増加し、2,881百万円となりました。これにより自己資本比率は32.0%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2020年2月6日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,290,986	1,651,028
受取手形及び売掛金	1,178,002	792,001
電子記録債権	270,846	631,083
製品	93,867	88,289
仕掛品	34,859	39,455
原材料及び貯蔵品	206,557	218,102
その他	48,518	91,122
貸倒引当金	△1,170	△560
流動資産合計	3,122,467	3,510,523
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,671,951	1,609,131
構築物(純額)	65,815	59,651
機械及び装置(純額)	499,588	450,100
車両運搬具(純額)	10,178	7,699
工具、器具及び備品(純額)	111,828	86,532
土地	1,657,869	1,657,869
リース資産(純額)	761,465	670,316
建設仮勘定	7,700	303
有形固定資産合計	4,786,397	4,541,605
無形固定資産		
ソフトウェア	2,059	1,411
リース資産	7,080	6,000
無形固定資産合計	9,139	7,411
投資その他の資産		
投資有価証券	756,420	852,968
その他	63,074	100,212
貸倒引当金	△7,560	△4,300
投資その他の資産合計	811,935	948,880
固定資産合計	5,607,473	5,497,896
資産合計	8,729,941	9,008,420

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	294,697	316,049
短期借入金	1,672,530	1,570,995
未払金	638,595	697,697
未払法人税等	12,351	16,002
賞与引当金	25,000	22,000
その他	235,919	383,631
流動負債合計	2,879,095	3,006,375
固定負債		
長期借入金	1,779,928	1,864,011
退職給付引当金	80,110	78,164
資産除去債務	50,524	50,556
その他	1,207,180	1,127,867
固定負債合計	3,117,743	3,120,598
負債合計	5,996,838	6,126,974
純資産の部		
株主資本		
資本金	658,240	658,240
資本剰余金	211,245	211,245
利益剰余金	621,238	721,458
自己株式	△31,722	△31,722
株主資本合計	1,459,001	1,559,221
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	300,517	348,640
土地再評価差額金	973,583	973,583
評価・換算差額等合計	1,274,101	1,322,224
純資産合計	2,733,102	2,881,445
負債純資産合計	8,729,941	9,008,420

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	4,439,625	4,726,845
売上原価	4,123,184	4,209,962
売上総利益	316,440	516,882
販売費及び一般管理費	399,716	412,463
営業利益又は営業損失(△)	△83,276	104,419
営業外収益		
受取利息	259	194
受取配当金	55,831	38,409
受取賃貸料	33,347	33,180
その他	6,079	4,418
営業外収益合計	95,517	76,202
営業外費用		
支払利息	45,118	39,929
その他	12,425	9,313
営業外費用合計	57,543	49,242
経常利益又は経常損失(△)	△45,302	131,379
特別利益		
固定資産売却益	-	16
特別利益合計	-	16
特別損失		
固定資産除却損	10,246	986
特別損失合計	10,246	986
税引前四半期純利益又は 税引前四半期純損失(△)	△55,548	130,409
法人税、住民税及び事業税	397	17,336
法人税等調整額	6	△10
法人税等合計	403	17,325
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△55,952	113,083

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。